宮城県助産師会のロゴマーク

発行日　2017年10月　第 23号

一般社団法人宮城県助産師会

宮城県助産師会だより

～巻頭言～

組織率をUPし活動の充実をめざしましょう！

会長　後藤美子

仲秋の候、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか
日頃より本会活動にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
今年度の上半期が終了しましたが、事業は順調にすすんでおります。
これもひとえに会員の皆様のご支援・ご協力のおかげと感謝申し上げます。

総会以降に宮城県から「平成29年度助産師人材育成・再教育研修事業」を委託されました。新たに3回の研修を追加し企画しております。

特に県北・沿岸部の助産師の皆さまには一人でも多く参加していただければと東松島市での実施を企画しております。会員の皆様には非会員の助産師の皆様に受講のお声掛けをお願い致します。会員・非会員を問わず一人でも多くの助産師の皆さまの研修への参加をご案内申し上げます。詳細は同封のチラシをご参照ください。

専門職である私たちには最新の知識と安全な技術を提供する事が責務です。アドバンス助産師認証取得・更新に向けても計画的な研修受講が必須です。また、生涯現役でいるためにも計画的に自己研鑽に務め、よりよいケアを提供していきましょう。

去る、9月7日に福島市で北海道・東北地区懇談会が日本助産師会の山本詩子新会長と島田真理恵副会長に出席していただき行われました。

そこで、組織率のUPが議題となり、山本会長より、各県は組織率30%を目指して欲しいとの意向でした。日助会より示された資料によりますと北海道・東北地区の組織率は23.4%と全国7ブロック中、最下位でした。

宮城県の助産師数752人（H28年12月）会員数183名（H29年9月会費納入者）、組織率は24.3%です。一人が一会員を勧誘していただけば、目標を達成できるのではないかと思います。本会の母子支援活動等の充実と助産師会の活性化を図り、助産師のパワーを発揮するためにも会員を増やしていきたいものです。会員の皆様のご協力をお願い致します。

平成30年度担当の北海道・東北地区研修会の企画も講師依頼など、順調に進んでおります。会員の皆様には、運営等でご協力頂く事になりますのでその節はよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様には今後とも本会の事業へのご協力と参加をお願い申し上げます。

おまけですが、今年の夏は36日間、雨降り続くという82年ぶりの天候不順の年でした。我が家の家庭菜園の夏野菜は太陽の陽ざしを待ちつつ、朽ち果ててしまいました。それでも長雨にも負けず、庭ではベコニアやシュウカイドウが満開に咲き、心なごんでおります。（右上添付写真）

じょさんしフェスタにて
会長（中央）あき子副会長（右）会計の山岸さん

八重咲きベコニアとシュウカイドウ

目次

全国総会・各受賞者紹介..... 2
北海道・東北地区研修会報告 .. 3
7月・9月研修会報告 4
NCPR・じょさんしフェスタ報告 ... 5
じょさんしフェスタ写真集..... 6
石巻市委託事業報告 7
じょさんしサロン報告・スタッフ募集 …8
災害派遣助産師登録のお願い
リーダーサブリーダー会議お知らせ
..... 9
今後のお知らせ 10

石川初枝さん（右）新田みつ子さん（左）

厚生大臣表彰を受賞、おめでとうございます！！

平成29年6月2日、東京都品川区のきゅりあんにて、平成29年度日本助産師会通常総会・創立90周年記念式典において厚生労働大臣表彰を石川初枝副代表理事と2人受賞いたしました。ひとえに皆様方のご支援に感謝いたします。

秋篠宮文人親王妃紀子さまのご臨席のもとで全国から48名の方々が受賞され大変光栄に思いました。諸先輩方から助産師であることの喜びと誇りを伝授していただき今があります。女性に寄り添い女性が幸せであり続けられるように微力ながら支援してまいりたいと思います。ありがとうございました。（東北労災看護専門学校　新田みつ子）

皆さま方のご支援のお蔭で、厚生大臣表彰を頂きました。ありがとうございました。今後も宮城県助産師会の発展のために頑張っていきたいと思います。（宮城県助産師会副代表理事　石川初枝）

受賞者紹介

日本助産師会会長賞受賞おめでとうございます！！

加藤由美さん

皆様の御指導、ご支援により、この賞を頂きましたこと感謝申しあげます。昭和61年に助産師となりました。病院勤務、専業主婦、そして現在仙台市妊産婦新生児訪問指導員、育児ヘルプ専門指導員として仕事をさせていただいております。みやぎ子育て女性健康支援センターでは、設立当初から関わる事が出来ました。地域の助産師として、お母さんとお子さんが頼れる存在となれるよう活動していきたいと思います。今後とも御指導よろしくお願いいたします。（みやぎ女性・子育て支援センター　加藤由美）

創立90周年記念式典、平成29年度日本助産師会通常総会、第73回日本助産師学会が、東京都品川区のきゅりあんで開催されました　創立90周年記念式典には、秋篠宮文人親王妃紀子さまもご列席されました

参加の皆様です　お疲れ様でした

懇親会の湾岸クルーズ　素敵な写真です

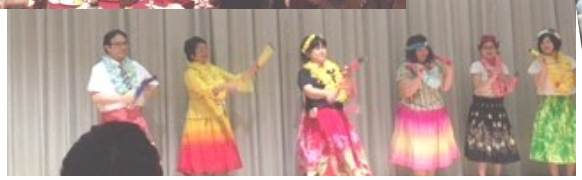
平成29年度（公社）日本助産師会　北海道・東北地区研修会　報告

副代表理事　後藤あき子

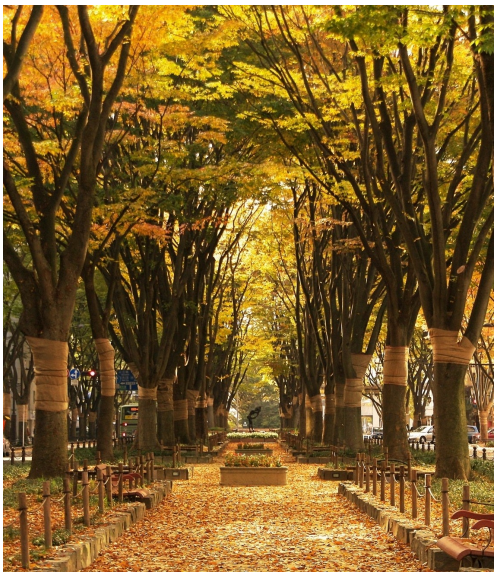
9月8日（金）・9日（土）にホテル福島グリーンパレスにて、北海道・東北地区研修会「ふるきを知り、新しきへ開く（助産師のきく～聞く、聴く、訊く、効く～力）を磨こう！」が開催されました。

8日の山本会長の講演では、アドバンス助産師は1万人に上る・助産師資格を取る方法は24通りもある、早く1本化に・日本助産師会は自然分娩と母乳育児を大事にする・産後入院をポピュラーに・性教育等は有料化を・助産師会会費は月にすると150円程度！・明るいポップな助産師を目指そう等、素敵な講演でした。公開講座では、産後ケアの重要性が話され、被災後の施設である産後ケア施設「会津助産師の家おひさま」は県から支援金を受け、利用者は314組に上り、母の笑顔が全ての問題解決につながると話していました。平成28年から病院の中で、二本松市産後ケアセンターも開所しています。

9日のCLoCMiP®承認研修の「常位胎盤早期剥離予防のための保健指導と診断時の対応」は、とてもわかり易く知見が広まりました。懇親会では、全員にレイが配布され、フラダンスを魅了しました。伊藤朋子さんの歌声も素敵に響き渡りました。



H30年度（公社）日本助産師会　北海道・東北地区研修会　宮城県開催！



次年度の北海道・東北地区研修会は「**宮城県**」開催です。

テーマ　**助産師力のアップデート**

～最新知識を取り込み、バージョンアップした助産師でいよう～

場所：宮城県医師会館（予定）

9月8日（土）

講演：日本助産師会会長

＊メンタルヘルスケア（仮）：成仁病院　精神科医　春日武彦先生

一般市民公開講座：産後クライシス（仮）：宮城大学教授　塩野悦子先生

部会交流会「各県助産師会が行う地域活動報告」

9月9日（日）

講演：GDMの周産期ケア（仮）：東北大学病院　糖尿病代謝内科講師　澤田正二郎先生

乳がんと周産期（仮）：東北大学病院　乳腺内分泌外科准教授　多田寛先生

＊母体感染のリスクと対応（仮）：講師依頼中

日程以外はすべて予定です。サポートスタッフ募集をいたしますので、公募の際には会員皆様のご協力をお願いいたします。9月8日の夜には懇親会もございます。ぜひご参加ください。よろしくお願いいたします。（＊はCLoCMiP®認証承認研修に申請中の講義です）

研修会報告

H29年7月15日「妊娠中からのパートナーシップを考える」研修会に参加して

こもれびの恵（さと）　宮橋富美子

準備中のこもれびの恵の前で
宮橋さん（左）千坂さん（右）

最初に東北メディカル・メガバンク事業の三世代コホート調査の進捗状況について、小原先生から報告がありました。つづいて、 NPO 法人ファザーリング・ジャパンの代表・安藤哲也先生から『妊娠中からのパートナーシップを考える～サポートを産後につなげるためには～父親への効果的アプローチを学ぶ』と題して、講義をいただきました。

Fathering とは、“父親であること・パパライフを楽しもう”という意味の造語です。ファザーリング・ジャパンはそのための環境づくりを支援・提案する組織で、男性が育児に参加することで家庭、地域、そして社会がどのように変わっていくかを研究しているそうです。

安藤先生の興味深いお話の中で特に印象に残ったことを紹介します。現代の父親の悩みで圧倒的に多いのは、“子どもとどう向き合っていいかわからない”“子どもが生まれてから、夫婦関係が悪化した”、この二点だそうです。それは決して父親当人の愛情・やる気・能力などがないわけではなく、夫婦や育児というものの価値観が古いことが原因であるといいます。そのような悩みを聞いた際には「よくやっているよ」とほめてあげ、「こうしてみるといいよ」と具体的に教えてあげることが効果的だそうです。また、父親、男性を画一的に捉えない、つまり「男ってこういうものでしょ 」と遠ざけるような言動は避けた方がいいそうです。これらのことは、助産師が夫や父親へアプローチする際の大きなヒントになるのではないかと思いました。そして、夫からのサポートを受けながら育児をしていけることで、母親は幸せになり、子どもはもちろん、その先の地域や社会へはかりしれない良い影響がうまれることを、数々の資料の裏付けのもと、教えていただきました。助産師として、対象の方々がこのようなパートナーシップがとれるよう、一つ一つの声かけ働きかけを丁寧にしていきたいと改めて思いました。

仙台市青葉区八幡に「産前・産後ケアハウス こもれびの恵（さと）」が10月5日に開院します。リーダーは千坂助産師です。私は3人目を出産後にこもれびの恵に勤務することになりました。お母さんたちの笑顔のために、主に産後の生活面をサポートできるよう活動していきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

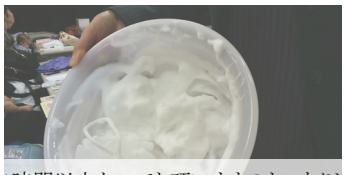
小原先生

安藤先生

しおがま地区母子保健推進ネットワーク主催研修会開催報告　坂総合クリニック産婦人科外来　青山幸恵

しおがま地区母子保健推進ネットワークでは、この地区の看護職の皆さんを対象に、年3回ほど研修会を開催しております。今回は、9月16日（土）14時より森川小児科アレルギー科クリニック（仙台市）で看護師として勤務されている高橋育子先生に「今日からできる子供のスキンケア」について、お話を伺いました。高橋先生は、宮城県内では、まだ4人しかいない小児アレルギーエデュケーターのお一人です。スキンケアのポイントは、よく泡立てること、手で洗うこと、しわを伸ばして洗うこと、そして十分な保湿をすること、といった内容についてビデオや、実技を通して、わかりやすく教えていただきました。特に泡の作り方については実践ありきと実感しました。講義が終わっても泡は全く消えず、硬いままでした。また保湿剤の量、塗り方など目で確認してやってみてわかることがたくさんありました。8月のじょさんしフェスタでも大盛況の内容でしたが、後半はさらに医療者向けに最近のアレルギーの考え方、治療法、事例紹介なども含めて詳しくお話ししていただきました。日常のケアを通して皮膚バリアを良好に保つことで、経皮感作を防ぎアレルギーを予防することができること、継続して実践できるよう、症状からだけでなく、日常の生活環境にも目を向けお母さんたちを支えて行くことの必要性を学びました。今回は前半の講義には、一般の方たちにもお声がけし37名の方たちに参加していただきました。小さなお子様連れやご夫婦で参加される方もいて、質疑応答も積極的で、皆さん興味津々の様子でした。アンケートでは「洗うだけでなく、その後の保湿の大切さを痛感した」「目からうろこ。動画を見て実践に生かしたい」「こどもに関するこのような話はいろいろな職種が関わるので、広く声かけして聞いてもらいたい」「お父さんも参加できるこのような研修を今後も企画してほしい」などの意見をいただきました。最近では、日本助産師会でも医療従事者向けにスキンケアのパンフレットを無料配布するなどの動きがあり、従来の沐浴の仕方や沐浴の開始時期なども見直されていくのではないかと思います。今後は、お母さんたちが迷ったり不安になったりしないよう小児科医師、皮膚科医師、産科医師などの見解を統一しガイドラインを明確化することが望まれます。医療者サイドでも従来の沐浴指導を見直し、統一した内容にすべき時期に来ていると思います。まずはお母さんや赤ちゃんとの日々のかかわりの中で、自分なりにできることから、始めたいと思います。

高橋育子先生（中央）と しおがま地区
母子保健推進ネットワークの皆さん


1時間以上たっても硬いままのもっちりした泡

H29年9月10日NCPR研修会開催報告　はははこっこ助産院　加藤道子

平成29年9月10日東北大学・医学部保健学科にて、『新生児蘇生法研修会』が実施されました。
「新生児蘇生法」は、出産の場に立ち会う助産師や医療者にとって、必要不可欠な技術であると言えます。
私たち周産期に携わる医療者は、出産の場で「おめでとうございます」という言葉を自然に使っていますが、この言葉は『あたり前』の現象ではなく、産まれてくる子供にとっても出産に臨む親にとっても、まさに『命を懸けた出来事』の先に紡ぎ出される言葉です。

順調な妊娠・分娩を経過した場合でも、予想外の新生児仮死が発生することが稀ではありません。そのためにも、妊娠中から分娩時の観察はもちろん、出産時の児の評価・ケアは、今後の児や親にとって新してスタートの境目になると思います。

細心の注意を払い、無事「おめでとう」の言葉を贈れるよう、準備を怠ってはいけないと再認識することが出来ました。平成26年8月に『専門コース終了』の認定を受け、3年ぶりの講習でしたが、この繰り返し講習を受けることで、少しでも自分の知識を技術を磨いていくことが大切だと実感しました。

H29年8月20日（日）じょさんしフェスタinみやぎ・2017開催報告　かとう母乳育児相談室　加藤美江子

8月20日(日)『じょさんしフェスタinみやぎ2017』が、太白区中央市民センター・太白区文化センター(通称たいはっくる)で開催されました。今年で5回目になります。一般社団法人宮城県助産師会会員183名のうち、勤務部会・保健指導部会・助産所部会の県内の助産師と助産師学生を含む70名の皆様と、たくさんの職種の方々のご協力のもとで開催されました。開会式では後藤会長のご挨拶の「助産師のおもてなしの心」という言葉に、少し緊張していた皆様の表情が、いつもの暖かい表情に戻ったように見えました。

会場は地下1階展示ホールとホール前スペースをメインに、3階4階で、体験講座やミニ講座、歯科相談、ベビーマッサージ、育児相談などを各会場で行います。

雨続きの8月で、フェスタ当日も小雨に降られ心配していましたが、たくさんの来場者で、盛会のうちに終わりました。参加者の内訳ですが、受付した大人266名・子ども141名総計407名。バランスボール11組(22名)・骨盤体操15組(30名)マタニティヨガ12名・ミニ講座「乳幼児スキンケア」100名・骨盤底筋体操20名・お風呂入れ体験20組・赤ちゃん着替えとおむつ替え35名・ハンドマッサージ100名・おんぶ抱っこ紐体験97名・歯科相談150名・骨密度192名・「いのちの授業」大人35名、子ども24名計59名・「カップルのための親になる備え」76名・午前のベビーマッサージ7組(19名)・ベビーヨガ16組(45名)・午後のベビーマッサージ13組(39人)・赤ちゃんの体重測定と育児相談71組(160名)たくさんの方がお越しくださいました。一昨年私は、地下1階展示ホール前スペースの体験コーナーの1つ、お風呂入れ体験の担当でした。今年と同じように来場者が途切れる事がなかったので、3階や4階の各会場に行く余裕もありませんでした。今年は、午前と午後の2つの担当を兼務していたことで会場を行き来する中、来場者の方々が楽しんでいる生の声を所々で聞くことができました。

ところで、私事になりますが、今まで塩野先生の産後クライシス予防のための講座を聴く機会を逃していました。今回是非聴きたいと、一緒の担当のメンバーに相談したところ「私達は以前聴いているので、どうぞ。」と快く返事を頂きました。感謝です！うぶごえ座の武者さんの「いのちの授業」も途中からでしたが見ることができました。私は、どちらの講座も会場の後の席で聴いていたため、会場の皆様の表情は見えませんでしたが、とても真剣に聴いているのが背中から伝わってきました。

『フェスタ』は、イタリア語で「祭」という意味だそうです。来場者の皆様も、開催する私達にとっても、楽しく参加できる『じょさんしフェスタ』です。次年度も開催予定ですので、参加していない会員の皆様ぜひご参加ください。次頁は、フェスタの写真集です。参加くださった方々の良い笑顔がたくさんあります。

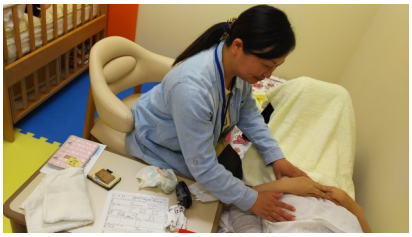
じょさんしフェスタ　写真集

総指揮・まんまはうすの武者文子さん
ありがとうございました

石巻市委託事業「助産師による　マタニティー＆母乳相談」活動報告　有希●助産院　高橋有希

今年度も4月から始まったこのサロンも早3か月になろうとしています。事業が始まってから2年になりますが、利用者約270名、ここ最近では1か月先まで予約がいっぱいになるまでに周知されてきました。毎週火曜日に市役所の授乳室とベビースマイル石巻の2か所で行っています。健康推進課の保健師と助産師本田由美さん・小野直子さん・高橋（筆者）で担当しています。相談料は無料です。

1人1人が、ゆっくりと安心し育児相談ができるよう1名1時間とし予約をとっています。相談内容は様々ですが、子供の成長や発達、離乳食の事、退院後母乳を上手に吸わせられない、分泌が少ない、しこりがとれない、卒乳後のケアなどです。「話を聞いてもらったら楽になりました」「安心して授乳ができそうです。もっと早く相談に来れば良かった。」などの言葉を頂いています。私自身も嬉しくパワーをもらいます。石巻市での育児環境の向上につながればよいなと思います。共に考え、成長を喜ぶことができる地域に、これからも貢献していきたいと改めて思います。

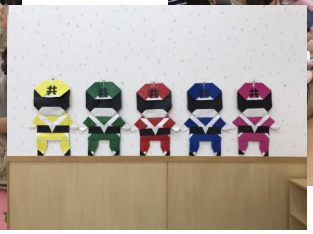


石巻市委託事業報告

H29年8月30日（水）「赤ちゃんサロン」抱っことおんぶの会　開催報告　富谷福祉会　新沼映子

助産師による産前産後「心とからだのトータルケア」推進事業の中の「赤ちゃんサロン」は、今年度は13回の開催があります。今回7回目の渡波子育て支援センターで開催いたしました。今年出来たばかりの子育て支援センターです。当日参加も含めて13組の参加がありました。今回は「抱っことおんぶについて」です。手遊びから始まり、赤ちゃんヨガ、ベビーマッサージなどを入れながら抱っこのお話をしました。ご希望があったベビーマッサージも楽しくできました。終わった後のアンケートでは、おんぶのやり方など初めて聞いたので、今後も役に立てたい、抱っこの仕方も成長に合わせての抱き方がありとても勉強になった、知らないことが知れてよかった、もっとこういう機会があればよいと思うなど、沢山の高評価を頂きました。

毎回違う子育て支援センターに赴いて、親子ビクスやベビーマッサージ、抱っこおんぶについて、母乳・ミルクの相談など多彩なプログラムになっています。この事業にかかわって、たくさんの石巻市の職員の方やママ達にお会いし、そして石巻市周辺の助産師と活動できることができてよかったです。今年も後半ですが、また精力的に活動していきたいと思います。



H29年7月14日のびすく長町南「じょさんしサロン」（@ママコミュベイビー）開催報告

太白区新生児訪問指導員　根本靖子

のびすく長町南（@ママコミュベイビー）での「じょさんしサロン」でベビーマッサージ教室を開催いたしました。今年度は全9回開催予定です。今回は2回目の開催日でした。毎回キャンセル待ちが出るほど人気で、震災後からずっと続けていることもあり、ママ達にはすっかりおなじみのサロンになりました。

猛暑の中、3ヵ月から8ヵ月までの12組の親子がご参加下さいました。今回は皆さんお一人目の方ばかりでした。季節柄、日焼けや汗疹などスキンケアに関するご質問が多く、エアコンの使い方や外出時の暑さ対策などの話題もあがりました。タイミングが合わず寝てしまったり、腹ばいでぐずった赤ちゃんもいましたが、親子でスキンシップを楽しんで頂きました。

おうちでもぜひ、赤ちゃんのタイミングに合わせ、タッチコミュニケーションを楽しく続けて欲しいなと思います。そしてこの活動が長く続けられるように、宮城県や仙台市の事業になればよいと思います。

「じょさんしサロン」の講師・協力員募集

「のびすく泉中央・のびすく若林」で開催が決まりました

スタッフ募集

じょさんしサロン内容：各会、母子の募集人数は10組程度。のびすく職員1名と助産師2～3人で担当します

助産師が行う内容：「ふれあい遊び」担当講師30分程度で母子が楽しめる内容の、ベビーマッサージ、わらべ歌遊び、ベビーヨガなどの講師　その後の育児相談

サポート助産師が行う内容：グループワーク形式の育児相談のファシリテーター　「ふれあい遊び」の実施中の参加者のサポート

☆のびすく泉中央
2月14日（水）10時集合　10時半開始12時解散
「ふれあい遊び」担当の講師　1名募集

☆のびすく若林（若林区役所、敷地内にある市民センター2階）
12月19日（火）10時集合　10時半開始12時解散
・「ふれあい遊び」担当の講師　1名募集
・サポート助産師（育児相談・お世話係担当）　1名募集
3月1日（木）10時集合　10時半開始12時解散
・サポート助産師（育児相談・お世話係担当）　1名募集

～申し込み方法～

専用のメールフォームをご使用ください。（ホームページにも掲載しています）

https://ssl.form-mailer.jp/fms/7bd14802533938

上記のアドレスまたはQRコードからお申し込みください。

メールエラーなどのお問い合わせは、09062507126（広報委員山口）まで、お電話にてお問い合わせ下さい。

（*留守電の場合必ずメッセージを残してください）

募集締め切り日：いずれも開催月の前月末まで（12月参加希望の場合、11月末まで）

薄謝、交通費支給あり

お問い合わせ：じょさんしサロン「泉チーム」

近藤素子　josansi-saron-3838@midwife-miyagi.net

※なるべくメールにてお問合せ下さい

仙台市周産期（妊産婦）福祉避難所　派遣助産師の登録のお願い

会長　後藤美子
災害対策委員　三澤寿美

宮城県助産師会は、平成28年4月20日　仙台市と『周産期（妊産婦）福祉避難所への助産師の派遣協力に関する協定』を結びました。大規模災害発生時に「周産期（妊産婦）福祉避難所」が開設され、仙台市より要請があった場合には、妊産婦の心身のケアや母児への支援のために、宮城県助産師会から助産師を派遣します。これに伴い会員の皆様に派遣助産師の事前登録をお願いいたします。

平成29年9月現在、「周産期（妊産婦）福祉避難所」の開設場所として、仙台市と協定を結んでいるのは、仙台市医師会看護専門学校、仙台徳洲看護専門学校、仙台医療センター附属仙台看護助産学校、仙台青葉学院短期大学、東北文化学園大学、東北福祉大学の6施設です。具体的な活動内容については、同封の「周産期福祉避難所（妊産婦福祉避難所）派遣マニュアル」に掲載しておりますので、ご覧ください。また、今回の派遣助産師の登録は、同時に宮城県内において大規模災害発生時にも、宮城県助産師会ボランティア助産師としても活用させていただきたくお願いいたします。

なお、これらの活動は、ボランティア活動であり、自己完結型の活動であることをご承知おきください。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申しあげます。

【登録方法と派遣の手順】

1　登録方法について

派遣登録を希望される方は、専用のメールフォームからお申し込みください。https://business.form-mailer.jp/fms/4c92199875805（メールフォームのアドレスです）　また、FAX用紙も同封いたします。（当会ホームページにも同じ内容を掲載しております）

2　宮城県助産師会災害対策本部について

名　称：一般社団法人宮城県助産師会
対策本部長：会長　後藤 美子
住　所：〒982-0817　宮城県仙台市太白区羽黒台21-25
電話・FAX：022-244-8007
メールアドレス：miyagisanba@gmail.com および383saigai@gmail.com

申し込みQRコード

3　派遣助産師の登録から派遣までの手順について

①派遣助産師に登録された派遣助産師のメーリングリストを作成します。

②仙台市から助産師派遣の要請があった場合の手順

本部長（会長）⇒ 派遣助産師専用メーリングリストで連絡・協力可能な助産師を募集 ⇒ 協力可能な派遣助産師　⇒ 本部長（会長）

③会長から派遣助産師へ

◆派遣助産師の名前、住所、生年月日、所属、メールアドレス、携帯電話番号、緊急時連絡先（自分以外の連絡先）、持参物、協力可能な期間、周産期（妊産婦）福祉避難所到着時刻、交通手段等を確認します。

◆被災状況、派遣場所、周産期（妊産婦）福祉避難所に避難する入所対象者等の情報を提供します。

④保険について

仙台市周産期（妊産婦）福祉避難所に派遣される場合は仙台市が、それ以外の派遣については日本助産師会の規定に準じます。

リーダーサブリーダー会議・災害対策研修会のご案内　災害対策委員　三澤寿美・青山幸恵

今年度のリーダー・サブリーダー会議は、災害対策研修会として開催することになりました。一般会員の参加も募ります。上記にありますように、仙台市と『周産期（妊産婦）福祉避難所への助産師の派遣協力に関する協定』を結んだこともあり、今後災害が発生してからどのように対応していくのかを講義とグループワークをしながら、シミュレーションしてまいります。万障繰り合わせの上ご参加ください。

テーマ：『災害への備え　～東日本大震災からの教訓と今後の課題～』講義・グループワーク
『周産期（妊産婦）福祉避難所の運営と課題』周産期（妊産婦）福祉避難所の説明・事例によるグループワーク

日　時：平成29年12月9日（土）13:00～16:00　　場　所：日立システムズホール仙台　エッグホール

持ち物：
参加される方は、すでに皆様に配布しました下記2点をご持参ください。
◆「宮城県助産師会　周産期福祉避難所（妊産婦福祉避難所）派遣マニュアル」（同封しています）
◆「一般社団法人宮城県助産師会　2017防災マニュアル」（6月号機関紙に同封済みです）
（＊ホームページの会員ページから印刷できます）

お知らせ

H29年11月18日（土）「助産師のための超音波検査基礎知識プレ研修」
時間：10:00～11:30　場所：トークネットホール仙台（仙台市民会館）第4会議室
主催：宮城県助産師会（チラシ同封）

H29年11月18日（土）「胎児心拍モニタリングの判断力を深めよう」（CLoCMiP®認証承認研修）
時間：15:00～17:30　場所：仙都会館5階会議室
主催：宮城県産婦人科医会（宮城県助産師会ホームページをご覧ください）

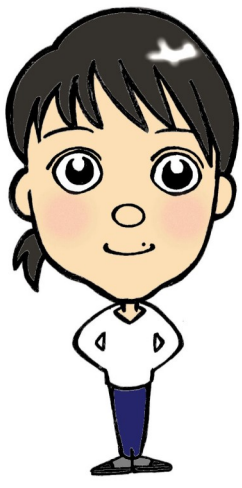
H29年12月9日（土）「災害への備え～東日本大震災からの教訓と今後の課題～」等　災害対策研修会
時間：13:00～16:00　場所：日立システムズホール仙台　エッグホール
主催：宮城県助産師会（チラシ同封）

H29年11月26日（日）「新生児のフィジカルアセスメントとケア」（CLoCMiP®認証承認研修）　時間：10:00～15:00
場所：東松島コミュニティーセンター1階集会室
主催：宮城県助産師会（チラシ同封）

アドバンス助産師
になろう！！

H30年3月18日（日）「助産師のための超音波検査基礎知識～演習編～」
場所：東北大学医学部保健学科　主催：宮城県助産師会
（チラシに詳しい内容が記載されています。ご参照ください）

H30年2月17日（土）「助産師のための感染管理上の最新情報」「子宮収縮剤の使用と管理」（CLoCMiP®認証承認研修）
時間：13:00～16:05　場所：仙台市戦災復興記念館5階会議室
主催：宮城県助産師会（チラシ同封）



編集後記
10月号機関紙無事発行となりました。6月～9月までの当会の活動の様子ギッシリ詰め込みました。年々活動も活発になってきています。会員数も少しづつ伸びてきています。もう少しで190名です。宮城県内での知名度を上げてどんどん地域貢献したいですね。今年度後半、まだご協力お願いいたします。
広報委員　山口之雪

一般社団法人宮城県助産師会
仙台市太白区羽黒台21－25
電話022(244)8007
FAX: 022 (244) 8007
電子メール: miyagisanba@gmail.com